

はまなす句会（四月十八日）（百三十二回）

過去よりも短き未来春惜しむ

圭二

枝垂梅過ぎし歲月ふと思う

菊枝

春耕の音の遠くに日もすがら

由美子

吹かれ散り路面に描く花模様

久子

アネモネの花びら多く重ね合い

玲子

逝く友を見送ることく桜散る

則子

